

あかりサミット 2006 vol.1

“みんなであかりを楽しもう”

各地に広がるキャンドルの“あかり”
“あかり”はひとを、“あかり”はところを、“あかり”は地域をつなぎます。



Hiroshima



Otaru



Shimokawa



Shikotsutoyaniseko



Sapporo

★ プログラム1 “まち”にともす “あかり”

基調講演：“あかりの風景づくり” 横島憲夫氏

★ プログラム2 “あちこちにともるあかり”

各地で行われている“あかり”の取り組み紹介

- ・ひろしまピースキャンドル
- ・小樽雪あかりの路
- ・しもかわアイスクヤンドルミュージアム
- ・シーニックナイト～灯りで繋ぐ雪の路
- ・さっぽろ夢灯り

★ プログラム3 “みんなでもそうあかり”

各地であかりに取り組む方々によるパネルディスカッション

コーディネータ：橋本登代子氏

平成18年12月3日(日) 北海道立近代美術館 講堂

主催/北海道点灯虫の会

後援/有限責任中間法人シーニックバイウェイ支援センター

★ プログラム 1

“まち”にともす“あかり”



「ともし灯の散策」

2006年10月20日(金)~22日(日)
美濃和紙の若手職人と、美濃和紙を使った燭(しょく)台(だい)にろうそくをともす。

基調講演：“あかり”の風景づくり

横島 憲夫氏 Norio YOKOJIMA

1946年岩手県生まれ。1970年多摩美術大学彫刻科卒業。1974年(株)トモスにてキャンドルのデザイン制作を始める。1988年キャンドルクラフト協会(現トモスカンドルクラフト)設立。1995年北海道富良野に「森のろうそく屋」開設。キャンドル制作指導のほか、各地の文化活動の一環として、日上市「夢炎」、あかりのまちなみ~美濃「ともし灯の散策」など、メッセージ性の強いあかりのイベント演出を手掛ける



日立夢炎2000, Winter



富良野演劇工場 2000, Winter

広島ピースキャンドル
1997, Summer (左)

長崎ピースキャンドル
1999, Summer (右)



各地で行われている“あかり”の取り組み紹介

1 ひろしまピースキャンドル

(特定非営利活動法人 ひろしま点灯虫の会)

理事兼事務局長 鈴木 俊哉 氏 Toshiya SUZUKI

8月6日の平和記念日の夜に、世界遺産である原爆ドームの周囲を、子供たちを始めとした多くの方々の手によって、作り、描かれたキャンドルで取り囲み、世界中に平和を発信する。

3 しもかわアイスクャンドル ミュージアム

(しもかわアイスクャンドルミュージアム実行委員会)

企画委員 渡邊 達也 氏 Tatsuya WATANABE

下川町は、冬の北海道の風物詩ともなっている“アイスクャンドル”の発祥地。アイスクャンドルを通じて、地域を興し、たくさんの方へ心を癒す“ともしび”として温もりを感じてほしいという想いから、約20年続いている取り組み。

5 さっぽろ夢灯り

(北海道点灯虫の会)

理事長 川瀬 良司 氏 RYoji KAWASE

雪道を灯りと人々のふれあいの場とし、誰もが参加できる楽しい催しを行うことを目指し、雪景色の大通り公園に1,000本の手づくり夢灯りキャンドルを点灯。寒くて長い北海道の冬を楽しく暮らす、生活文化の提案のひとつとして、冬のまちなみを彩る取り組み。

2 小樽雪あかりの路

(小樽雪あかりの路実行委員会)

副会長 山口 保 氏 Tamostu YAMAGUCHI

冬が来ると小樽市民が自然に「雪あかり」を楽しみ、街中いたるところにろうそくの灯りが照らし出される...市民とともに観光客も一緒に楽しめるお祭りを目指し、運河の浮き玉キャンドル、散策路やまちなか、住宅地を飾る「雪」と「灯り」を楽しむ取り組み。

4 シーニックナイト～

灯りで繋ぐ雪の路

(シーニックナイト実行委員会)

事務局 大川 富雄 氏 Tomio OKAWA

寒い冬の夜をみんなで楽しもうという想いからはじまり、平成18年冬、千歳から洞爺湖、羊蹄・ニセコ山麓まで、“シーニックバイウェイ 支笏洞爺ニセコルート”が約2万本のキャンドルの灯りで繋がった。各地が、思い思い自由に雪のキャンドル作り、点灯を楽しむ取り組み。

★ プログラム3

“みんなでもそうあかり”

パネルディスカッション

コーディネータ：橋本 登代子氏（北海道点灯虫の会）

Toyoko HASHIMOTO

STV（札幌テレビ放送）を退職後、フリー活動に入り「ボイス オブ サッポロ」を設立。現在 17 名のスタッフ、アナウンサーをかかえる。又、講演、対談、シンポジウム、コーディネータ、執筆と幅広く活躍中。平成 16 年よりさっぽろ夢灯りに参加、現在も北海道点灯虫の会の理事として、活動に取り組む。

パネリスト：

ひろしまピースキャンドル（特定非営利活動法人 ひろしま点灯虫の会）

理事兼事務局長 鈴木 俊哉 氏

誰かがキャンドルを作り、誰かがキャンドルにメッセージを描く。誰かがキャンドルをならべ、誰かがキャンドルに灯りをとます。そして誰かがそのキャンドルを見つめる。キャンドルの灯りには必ず人が関わっています。それは思いがつながっていくことを意味しているのではないのでしょうか。

小樽雪あかりの路（小樽雪あかりの路実行委員会）

副会長 山口 保 氏

雪の中でゆらめく、小さなあかりには、人々の心をやさしくつなぐ力がある。

しもかわアイスクャンドルミュージアム（しもかわアイスクャンドルミュージアム実行委員会）

企画委員 渡邊 達也 氏

あかりには人を引き寄せる力があると思います。

シーニックナイト～灯りで繋ぐ雪の路（シーニックナイト実行委員会）

事務局 大川 富雄 氏

雪の中でキャンドルがゆらぐのに暖かさを感じます。

さっぽろ夢灯り（北海道点灯虫の会）

副理事長 原文宏 氏

真っ暗な雪原に“あかり”がつくる、冬の景色いいよね。

参考資料編:あかりサミット2006 出演団体～活動概要～

ひろしま ピースキャンドル

ひろしまピースキャンドルは、8月6日の平和記念日の夜に、世界遺産である原爆ドームの周囲を、手作りのキャンドルで取り囲み、世界中に“平和を発信する”という想いから始まった。社団法人広島青年会議所を中心に始まった「ピースキャンドル」は、現在「特定非営利法人ひろしま点灯虫の会」に引き継がれている。参加団体は100を超え、広島市内だけでなく、日本国内、海外からの参加も増えている。旭川市で行われる「あさひかわ雪あかり」から伝えられ、広島で灯され、長崎にも伝えられた「夢灯り」をさらに多くの人々、地域、国々で灯されることを願っている。

ひろしまピースキャンドル開催概要

開催日	平成18年8月6日(日)
時間	19:00～21:00(点灯式は19:00より)
開催回数	平成8年より始まり、平成18年で10回目を迎える。
主催	特定非営利活動法人 ひろしま点灯虫の会
主な内容	<p>8月6日の平和記念日の夜に、世界遺産である原爆ドームの周囲を、子供たちを始めとした多くの方々の手によって、作り、描かれたキャンドルで取り囲み、世界中に平和を発信する。</p> <ul style="list-style-type: none">・平和記念公園では、「ピースキャンドル」への参加を受付けており、無地のキャンドルにメッセージを書き込み、会場に設置する。(1灯500円で参加)・点灯場所は、平和記念公園のみならず、広島市内の小学校や地域へと広がっている。(今年の「ピースキャンドル」は、子供たち等の協力により2500個が製作された)また、最近では、修学旅行で「ピースキャンドル」の製作に参加する姿もみられる
URL	ひろしま点灯虫の会 http://www.peacecandle.or.jp/index.htm 点灯虫の会_ブログ http://tentoumushi.typepad.jp/blog/
次回の開催	第11回 ピースキャンドル 平成19年8月6日(月)



ひろしまピースキャンドルの様子



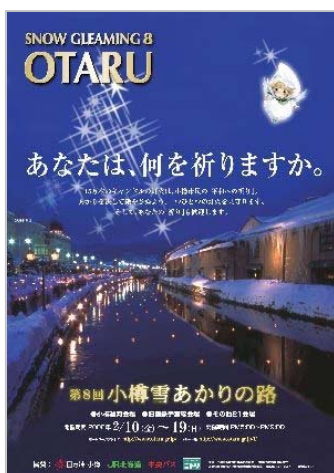
平和へ想いを込めてメッセージを書き込む

小樽雪あかりの路

小樽雪あかりの路は、小樽観光の弱点である「冬の夜（宿泊）」を克服したいと思いがきっかけとなり、冬が来ると市民が自然に「雪あかり」を楽しみ、街中いたるところにろうそくの灯りが照らし出され、市民とともに観光客も一緒に楽しめるお祭りを目指して実施している。運河に浮かぶ400個の浮き玉キャンドル、浅草橋街園や散策路を飾る雪とろうそくのオブジェ、ホットメニューの提供など、冬の楽しみが広がっている。

「平成18年開催 小樽雪あかりの路」開催概要

開催期間	平成18年2月10日（金）～2月19日（日）		
時間	17:00～21:00		
開催回数	平成11年より始まり、平成18年で7回目を迎える。		
主催	小樽雪あかりの路実行委員会（小樽市経済部観光振興室内） 小樽観光誘致促進協議会（観光協会、商工会議所、物産協会、小樽市で構成）		
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運河会場 小樽運河が、“浮き球キャンドル”をはじめとする多くのろうそくできらめく。また、運河会場において、雪像・オブジェ等の製作をする市内の団体・企業等を募集している。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・手宮線会場 旧国鉄手宮線（現在は散策路）が、幻想的な“あかりの路”となる。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・あかりの路 “小樽雪あかりの路”は上記会場も含め、今や小樽市内全域に拡大し、町内会・商店街などで独自に演出している。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・雪あかりの路オリジナル写真付切手の販売 「小樽雪あかりの路オリジナル写真付き切手」の販売。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「雪」と「あかり」のイメージコンテスト 「雪」と「あかり」をモチーフにした作品のコンテスト。市民が自宅前などで製作した雪あかりの路にふさわしい夢あふれる作品を募集している。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・小樽雪あかりの路フォトコンテスト 「雪」と「あかり」をモチーフにした作品のコンテスト。市民が自宅前などで製作した雪あかりの路にふさわしい夢あふれる作品を募集する。 		
来場者数	50万5000人	スタッフ数	約150名
URL	http://www.city.otaru.hokkaido.jp/kanko/akari2/akari-top.htm		
次回の開催	第9回小樽雪あかりの路 平成19年 2月9日（金）～2月18日（日）		



平成18年小樽雪あかりの路の様子



しもかわアイスキャンドルミュージアム

下川町は、冬の北海道の風物詩ともなっている“アイスキャンドル”の発祥地。アイスキャンドルを通じて「地域を興し、たくさんの方へ心を癒す“ともしび”として温もりを感じてほしい」という想いで取り組みを実施。

昭和 62 年、町内のアイディア研究会「コロンブスの卵」が一冊の本からヒントを得て作成したアイスキャンドルを、その年の「下川冬祭り」で飾ったのが始まり、約 20 年に渡って下川町の冬を彩るイベントとなっている。現在は、「アイスキャンドルフェスティバル」から、「アイスキャンドルミュージアム」と名称を変更。

「平成 18 年開催 しもかわアイスキャンドルミュージアム」開催概要

開催期間	平成 18 年 2 月 18 日（土）～ 2 月 26 日（日）		
主催	しもかわアイスキャンドルミュージアム実行委員会 （NPO 法人 しもかわ観光協会内）		
主な内容	しもかわアイスキャンドルミュージアムは「アイスキャンドルフェスティバル」「アイスキャンドルパーク」「アイスキャンドルスクエア」と 3 つのイベントを合わせた総称。		
	・アイスキャンドルフェスティバル 2 月 18 日・19 日開催 [会場] 下川町総合グラウンド・万里長城（桜ヶ丘公園）・恵林館 18 日 には、氷点下での野外バーベキュー、花火、メインステージでの和太鼓演奏や参加型ゲームを実施する他、アイスキャンドルウェディングも開催。19 日は、子供を中心としたアトラクションをメインとし、「スキージャンプの町しもかわ」らしい人形を使用した“ミニチュアジャンプ選手権を実施。”		
	・アイスキャンドルパーク 2 月 18 日～26 日開催 [会場] 万里長城（桜ヶ丘公園）_万里長城を会場とした雪原に約 2000 個のアイスキャンドルとカクテル光線のライトアップを実施。開催中 19：00 頃より、アイスキャンドルの点灯も体験できる。		
	・アイスキャンドルスクエア 2 月 19 日～26 日開催 [会場] 恵林館_カフェ、コンサート、ロウソク（キャンドル）づくりを有料で体験出来る。アイスキャンドルの歴史も写真や映像等により紹介されている。		
	・街角キャンドル_上記の会場以外も、商店街や道路沿い、各家庭に 6000 個以上のアイスキャンドルが飾られる。 ・フォトコンテストの開催		
来場者数	約 2 万人	スタッフ数	約 100 名
URL	http://www.shimokawa-kankou.jp/index2.htm		
次回の開催	しもかわアイスキャンドルミュージアム 平成 19 年 2 月 第 3 土曜日～ 9 日間		



平成 18 年しもかわアイスキャンドルミュージアムの様子

キャンドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～

寒い冬の夜をみんなで楽しもう、とニセコでスタートしたこの取りくみは、平成 18 年冬、千歳から洞爺湖、羊蹄・ニセコ山麓まで、“シーニックバイウェイ 支笏洞爺ニセコルート”を約 2 万本のキャンドルの灯りで繋ぎ、各地で沢山の方が参加、思い思いに雪のキャンドル作り、点灯を楽しみました。次回より、名称を“シーニックナイト”に改め、さらに広域での点灯と、キャンドル点灯に合わせたイベントも各地で企画中。

*シーニックバイウェイ (Scenic Byway) とは、景観・シーン (Scene) の形容詞シーニック (Scenic) と、わき道・より道を意味する (Byway) を組み合わせた言葉。地域と行政が連携し、景観や自然環境に配慮し、地域の魅力を道でつなぎながら個性的な地域、美しい環境づくりを目指す取り組みです。

キャンドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～実施概要

開催日	平成 18 年 1 月 28 日 (土) ~ 平成 18 年 2 月 4 日 (土) *一斉点灯日 1 月 27 日 (土) 2 月 4 日 (土)
時間	17:00 ~ 21:00
開催回数	第 1 回
主催	キャンドルナイト実行委員会 (NPO 法人 WAO ニセコ羊蹄発見の会、京極町景観を考える会、NPO 法人洞爺にぎわいネットワーク)
共催	NPO 法人支笏湖まちづくり機構 Neo ステージ、ニセコまちづくりフォーラム、ニセコリゾート観光協会、ニセコ観光協会、ニセコ観光国際の会、真狩村村づくり研究会、きもべつ WAO、NPO 法人しりべしリバーネット、ニセコ広域観光委員会、洞爺湖温泉観光協会
主な内容	シーニックバイウェイ__支笏・洞爺・ニセコルートをキャンドルの灯りで結ぼうと各エリアが連携。キャンドル約 20,000 本の協賛があり、支笏湖は雪あかりの散歩道を洞爺湖は温泉街を灯りで彩り、ニセコでは、ホテルやスキー場をはじめ、喜茂別町や倶知安町、蘭越町のまちなか、中山峠など道の駅へも広がり、当初予定されていた場所以外の自発的な参加や、配布キャンドル以外のカラーキャンドル、雪のオブジェなど、地域の人から観光客まで、それぞれが思い思いに雪と灯りを楽しむ 2 日間となる。キャンドルは、個人 1,000 円 (10 本入り) 企業 10,000 円で協賛をよびかけた。
URL	(シーニックバイウェイ支援センター = http://www.scenicbyway.jp/)
次回の開催	シーニックナイト～灯りが繋ぐ雪のみち～平成 19 年 1 月 27 日 (土) ~ 2 月 12 日 (月) 一斉点灯日 : 1 月 27 日 (土) 2 月 10 日 (土)



キャンドルナイト～灯りで繋ぐ雪のみち～の様子

さっぽろ夢灯かり

雪道を灯りと人々のふれあいの場とし、誰もが参加できる楽しい催しを行うことを目的として、平成17年2月、地域ボランティアによる雪とキャンドルの参加型イベント「さっぽろ夢灯り」を開催。寒くて長い北海道の冬を楽しく暮らす、生活文化の提案のひとつとして、冬のまちなみを彩ろうという取り組み。平成18年2月11日（土曜日）さっぽろ雪祭り会場にて第2回目を開催。

さっぽろ夢灯かり概要

開催日	平成18年2月11日（土）
時間	17:00～20:00
開催回数	第2回
主催	北海道点灯虫の会
主な内容	<p>・さっぽろ雪祭りで賑わう、雪景色の大通り公園に“灯かりの小路”を制作、一般の方々に参加頂き、1,000本の手づくり夢灯りキャンドルを点灯、北海道の冬のまちなみを彩る。手作りキャンドル体験や、点灯セレモニー等も実施。</p> <p>「北海道点灯虫の会」は、一人一人が参加する楽しみを持ち“灯り”を通して多くの人たちと心のネットワークを作ること。“灯り”を用いた景観形成や生活文化の提案等、地域の魅力創造に繋がる活動を行うことを目的として設立。目的に賛同する個人及び団体の会員とその会費により運営しており、「さっぽろ夢灯り」は「北海道点灯虫の会」が主催する活動の一つとして実施している。</p>
URL	http://tento-mushi.koken-e.net/ 北海道点灯虫の会～会員募集中
次の開催	さっぽろ夢灯り2007 平成19年2月10日（土）



さっぽろ夢灯り2006の様子



あかりサミット2006 vol.1は、出演者のみなさんをはじめ、
スタッフ一同、全てボランティアにより企画・運営しております。

ご参加いただいた皆様は、もちろんのこと、

準備期間においてもたくさんの方々のご協力いただき、

本日、開催することができました。

ご支援・ご協力いただいた皆様、本日ご参加いただいた皆様

ありがとうございました。



北海道点灯虫の会

URL <http://tento-mushi.koken-e.net>

E-mail tentoumushi@decnnet.or.jp